

令和元年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 東京都立昭和高等学校 学校運営連絡協議会
- (2) 事務局の構成 主幹教諭＝事務局長、経営企画室長 計2名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、教務主任、生活指導主任、進路指導主任、保健部主任、教育広報部主任、第1学年主任、第2学年主任、第3学年主任 計11名
- (4) 協議委員の構成
昭島市教育委員会指導主事、昭島市立中学校長、昭島市立小学校長、昭島市自治会連合会長、本校同窓会長、本校保護者代表、学校法人河合塾東日本本部立川校校舎長、学校法人駿河台学園駿台予備校立川校校舎長 計8名

2 令和元年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和元年6月26日（水）内部委員11名、協議委員7名
協議委員委嘱、評価委員委嘱、委員紹介、学校運営連絡協議会の趣旨説明、学校経営計画の説明、年間授業計画の説明、組織目標の説明、本校の現状と課題等説明、意見交換
 - 第2回 令和元年11月27日（水）内部委員11名、協議委員4名
学校の教育活動に関する報告、組織目標の中間報告、協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価アンケートの内容検討・協議、意見交換
 - 第3回 令和2年3月5日（木）中止
資料を協議委員へ送付
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和元年11月27日（水）内部委員4名、協議委員1名
今年度の学校評価の基本方針の確認、今年度の学校評価の観点・項目・内容の検討、今年度の学校評価の実施時期の検討
 - 第2回 令和2年3月5日（木）中止
学校評価アンケート集計結果を協議委員へ送付

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点
「学校の教育活動に対する満足度」「学校の指導方針への理解度」「開かれた学校づくり」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

・12月 全校生徒	対象：953人	回収：939人	回収率：98.5%
・12月 保護者全員	対象：953人	回収：646人	回収率：67.8%
・12月 教職員	対象：60人	回収：43人	回収率：71.7%
・12月 地域	対象：約80人	回収：43人	
- (3) 主な評価項目
 - ①生徒・保護者・教員対象
「学校に対する満足度」「教育目標の標語に対する取組具合」「学習指導に対する満足度」「生活指導に対する満足度」「進路指導に対する満足度」「健康指導・安全指導に対する満足度」「開かれた学校づくり」「ライフ・ワークバランス」（教職員・保護者のみ）
 - ②地域対象
「本校の認知度」「広報活動」「教育目標に向けた教育活動」「教育活動の成果」「規範意識の育成」「部活動の取組」「地域連携」
- (4) 評価結果の概要
 - ・生徒と保護者の回答では、多くの質問で昨年度に引き続き70%から90%強の肯定的な数値を維持し、昨年度までと同様の傾向である。「家庭学習時間の確保」については、肯定的回答が昨年度に比べて生徒で40%⇒32%と大きく減り、保護者で35%⇒39%、教職員は35%

⇒21%であり、生徒、教員の認識は一致してダウンしている一方、保護者の評価は上がっており、やや乖離がみられる。この項目のみ、他の質問項目と比較して、肯定的回答が突出して低い。ほとんどの項目で、保護者の肯定的回答が昨年度に比べて上昇しており、わからないとする回答がやや減った

- ・地域対象のアンケートは、昨年より本校に隣接している東小学校、昭和中学校の教員と郷地・東町連合自治会の地域住民の方をお願いしている。記述式においては、本校に対する期待や好感度の良い回答のみであった。

(5) 評価結果の分析・考察

- ・第2回評価委員会が中止のため委員会での分析・考察は実施していない。
- ・昨年度より、保護者の回答の選択肢に「わからない」を追加して5択としたが、「わからない」がやや減り、学校に対する保護者の理解が進んだと思われる。
- ・教職員のライフ・ワークバランスについての質問では、保護者の肯定的回答が顕著に増加し、教員の肯定的回答もやや増加し、教職員の働き方改革は進んでいるものと思われる。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・ここ数年、ほとんどの質問において肯定的な回答が高い割合を維持している。また、進路実績も年々向上してきたが、今年度は昨年度より低下傾向で、学校の取り組みの安定化が重要である。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

委員からの意見は以下のとおり

- ・英語教育の在り方について、小学校、中学校でも課題がある。小学校、中学校との連携ができるとよい。
- ・国公立大学進学を勧めても、保護者がストップをかける場合が多い。
- ・塾でもカウンセラーを週2回置いているが、最近はいっぱいになる。メンタルケアや勉強へのモチベーションを上げることが重要である。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

第3回学校運営連絡協議会及び第2回評価委員会が中止のため、協議を行っていない。上記4(2)に記載した事項が学習指導や進路指導における改善事項である。

6 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 なし 企画調整会議 なし 【成果】 なし

7 その他

今年度は、第2回学校運営連絡協議会及び第1回評価委員会を11月下旬に開催したため、アンケート配布から回収までの期間が短かった。保護者と教職員のアンケート回収率を高めるため、次年度は2学期の開催時期を早める。